

# 地域コミュニティを支える『こだいら commons』

## 1 各敷地の特徴を活かした一体的なエリアマネジメント

私たちの設計チームは、本整備事業を本庁舎を中心とした地域コミュニティのこれからのあり方の議論の契機と捉え、従来の「団体自治の拠点（行政）機能」に加え「住民自治の拠点（交流・協働）機能」を強化します。これまで行政機能が点在していた対象エリアを一体的にとらえなおし、特徴のある“3つのサイト”と、それらをつなぐ既存の植生を活かした“グリーンインフラ”からなる『こだいら commons』＝公民協働の社会資源として整備することで、行政・防災・にぎわいのネットワークをつくりだします。



## 2 “グリーンインフラ”が繋ぐ3つのサイト

### シビック・サイト

- ・新設建物の敷地を現市民広場とすることで、従来の利用環境や工事期間中の周辺への影響を最小限に抑えます。
- ・健康福祉事務機能が入る新設建物を健康センターに隣接して配置することで、健康福祉部内の連携を強化し、充実した公的福祉サービスに支えられた持続的な市民協働の場としての『シビック・サイト』を提案します。
- ・新設建物に隣接した福祉会館跡地を駐車場として整備することで、利用者の利便性に配慮します。

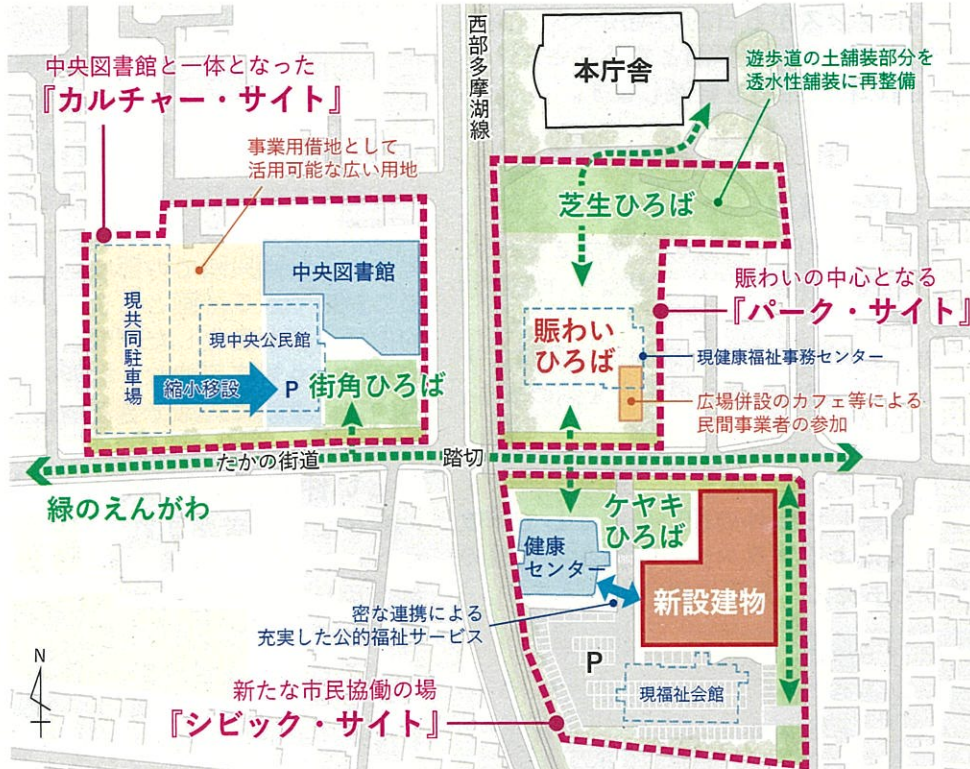
### パーク・サイト

- ・健康福祉事務センター跡地を、新設建物と本庁舎、中央図書館を繋ぐ結節点と位置づけ、様々な用途に利用できる賑わい広場として整備することで、将来の柔軟な土地活用に対応します。
- ・広場にはカフェやマルシェ、プレイグラウンド等を併設する事ができるようにし、民間への貸付による財産活用を提案します。



### カルチャー・サイト

中央公民館解体後に共同駐車場を縮小・移設し、中央公民館跡地と一体となった広い用地を確保することで、事業用借地としての価値を高めるとともに、将来的に中央図書館を更新する際の用地としての利便性を確保します。



### ケヤキひろば

パークサイトの賑わいを引き込む『ケヤキひろば』を新設建物に隣接してつくります。新設建物と健康センターをつなぎ、市民協働を促進する交流・憩いの場となります。

### 芝生ひろば

既存樹木を保存し、景観を守ります。バリアフリーの観点から遊歩道の舗装を再整備し、本庁舎と関連施設の連携を強化するとともに、利用者の利便性に配慮します。

### 街角ひろば

中央図書館南側にある既存の樹木広場を活かして整備することで、交差点の新たなシンボルとなり、エリア全体の回遊の起点となります。

### 緑のえんがわ

- ・交通量が多い一方で、道幅が狭く安心して通行できない、たかの街道の歩道に沿って5Mの拡張帯を設け、歩行者の安全性に配慮します。
- ・ベンチ等の屋外家具に加え、レインガーデン（緑の排水路）を設置することで、景観と環境に配慮した歩行者空間を提案します。
- ・将来的に道路が拡幅される場合は、道路用地として活用できます。



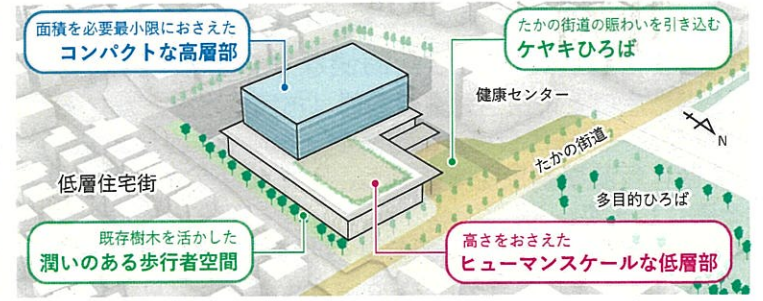
## 3 まち・緑と連続し調和する建物配置計画

### ケヤキひろばに開いたL字配置

ケヤキひろばを取り囲むL字配置により、まちの賑わいを建物内に引き込み、市民が気軽に集まれる場所とすることで、市民協働を活性化します。

### 圧迫感をおさえたボリューム配置

- ・隣接する住宅街に配慮し、高層部をセットバックさせたボリュームとすることでまちに溶け込む表情をつくります。
- ・敷地東側の既存植栽帯は、既存樹木を活かした歩行者空間として整備し、利用者の利便性と周辺環境に配慮します。



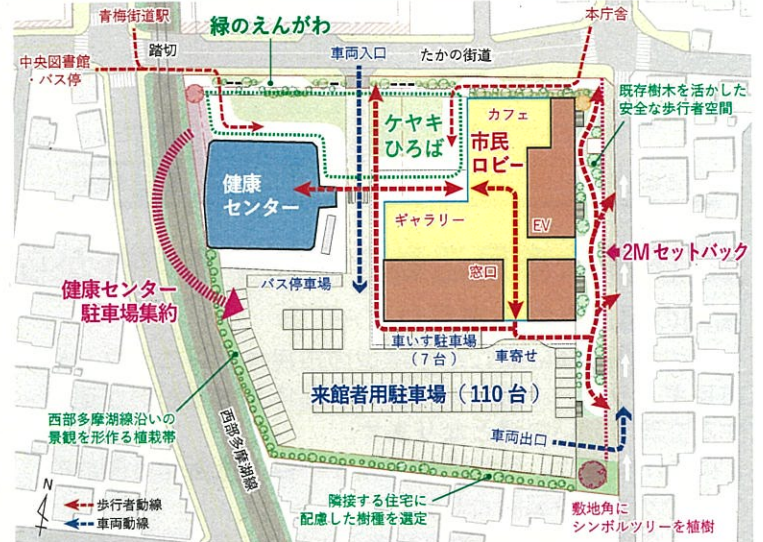
## 4 だれもが立ち寄りやすい開かれた活動拠点

### 裏をつくらない施設計画

- ・たかの街道に開いたケヤキひろばや通り抜け可能な敷地内通路が、まちの回遊性を高めます。
- ・1階市民ロビーは南北に抜ける構成とし、あらゆる交通手段による来訪者動線の移動距離を軽減します。
- ・ケヤキひろばに沿って市民ロビーやカフェ、市民ギャラリーといった市民に開かれた空間を配置することで、まちと連続し、開かれた施設を生み出します。

### 歩行者の安全性に配慮した動線計画

- ・健康センター駐車場を新設駐車場に集約し、跡地をケヤキひろばの一部とすることで、たかの街道沿いの良好な景観と安全な歩行者空間をつくります。
- ・建物出入口に隣接した底下空間に、車いす用駐車場と車寄せを配置することで、雨天や猛暑等の天候に左右されずに利用できる快適なアプローチをつくります。
- ・歩道のない狭あい道路に面する敷地東側は、既存樹木を極力保存しながら透水性舗装による遊歩道の再整備を行うことで、建物のアクセス性を高めるとともに、市民が日常的に利用できる安全性に配慮した歩行者空間とします。

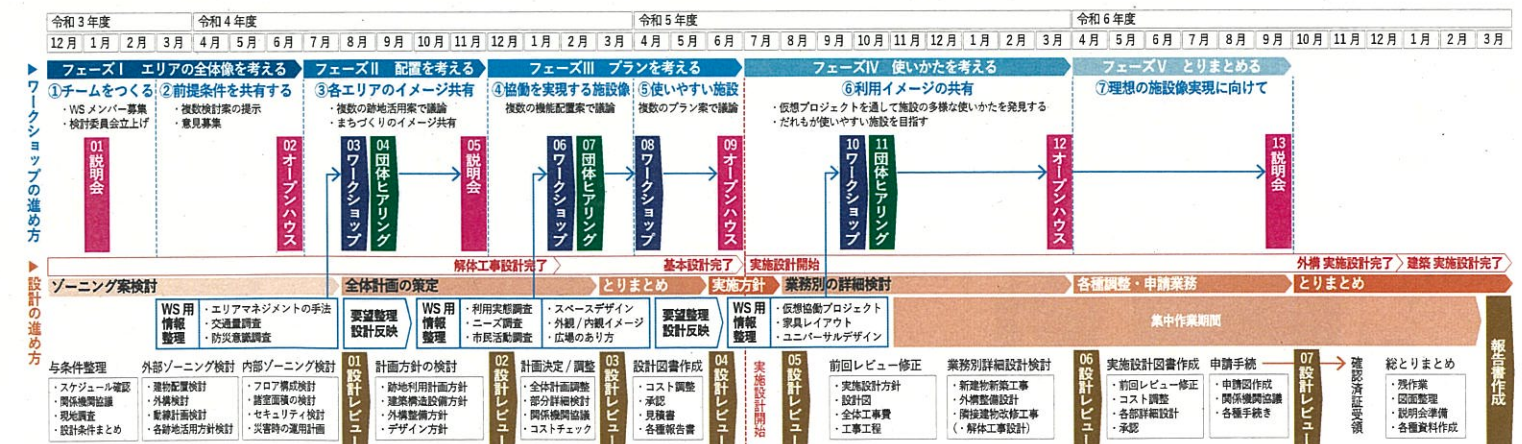


### 敷地周辺の渋滞緩和対策

- ・車両進入口を敷地北側、出口を東側に限定したワンウェイ動線とすることで、たかの街道の交通量を軽減し、踏切周辺の渋滞を緩和させます。
- ・車両出口を東側に配置したことによる狭あい道路の交通量増加に配慮し、敷地東側を2M道路状にセットバックさせ、利用者の利便性と歩行者の安全を確保します。
- ・車両進入口から駐車場に至るまでの車路長さを十分にとることで、大勢の来訪者が想定されるイベント等においても、踏切周辺の渋滞発生を抑制させます。

## 5 意見交換と反映を反復し迅速に理想の施設像を探る設計工程

事業全体を通して段階的なテーマ設定を設け、ワークショップ、利用団体ヒアリング等の意見交換と反映の反復による密度の高い対話型設計をおこなうことで、市民・職員のみならずとの丁寧な合意形成を図るとともに、円滑な業務遂行と設計工程の適切なスケジュール管理をおこないます。



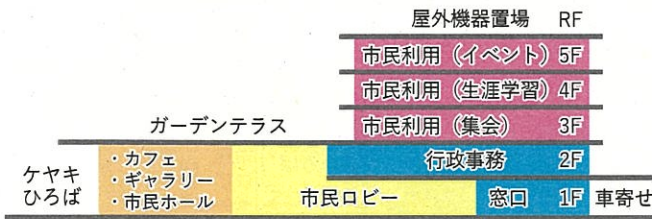
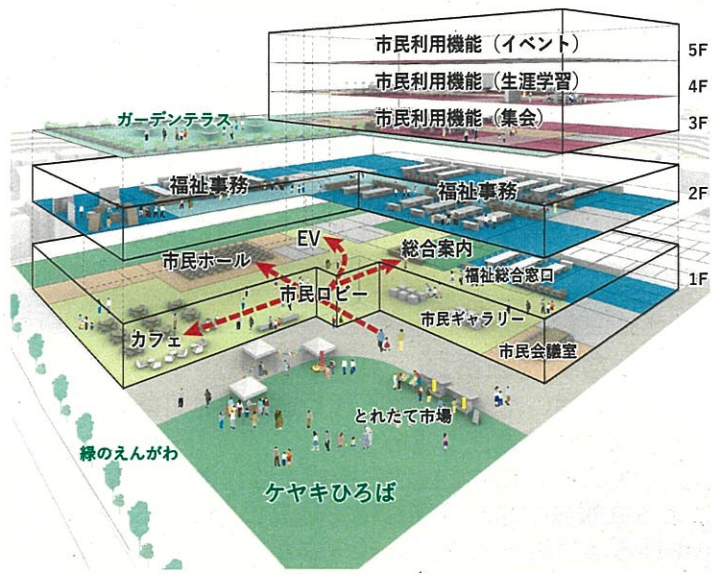
※内容はプロポーザル提案時のものであり、今後の協議により変更する場合があります。

# 市民協働を誘発するコミュニティ拠点

## 1 利用者の利便性を高めるコンパクトな建築計画

### 多様な利用者に配慮した明快なフロア構成

- ・1階に窓口と市民活動支援機能（市民ロビー、カフェ、ギャラリー、市民会議室、市民ホール）を集約します。
- ・2階に行政事務機能を集約し、セキュリティと独立性を確立します。
- ・3～5階に市民利用機能を集約します。3階を集会フロア、4階を生涯学習フロア、5階をイベントフロアとし、目的の異なる多様な利用者に配慮した、分かりやすく利便性の高い施設計画とします。



## 2 多様な市民活動を誘発する“外からみえる”コミュニティ機能

### 協働の起点となる市民ロビー

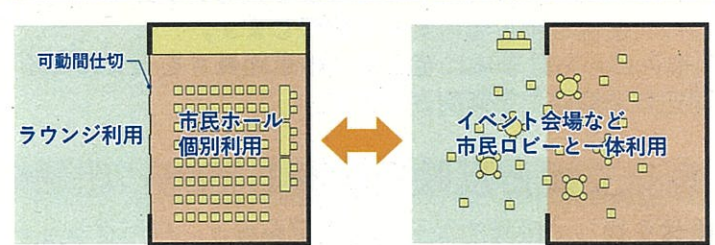
- ・ケヤキひろばに面したL字型の市民ロビーにカフェや市民ギャラリーを設けることで、屋内外に賑わいが連続する交流・憩いの場となります。
- ・吹抜けを設け、目的の行き先が一目で見渡せる開放的で分かりやすい玄関とします。



- ・総合案内（公民館事務室）と福祉総合窓口を隣接して配置することで、相互連携が容易な、市民にも職員にもやさしい窓口とします。

### ロビーと繋がる市民ホール

- ・1階市民ホールは、可動建具を開放することにより市民ロビーと一体利用が可能な、多目的な空間です。



### 多目的な市民会議室

- ・1階の市民会議室は、行政の会議室としてだけでなく、市民利用機能として開放された協働の場となります。
- ・屋内外から活動が見えるガラス張りの空間とすることで、人々の市民活動への関心を高めます。

### ガーデンテラス

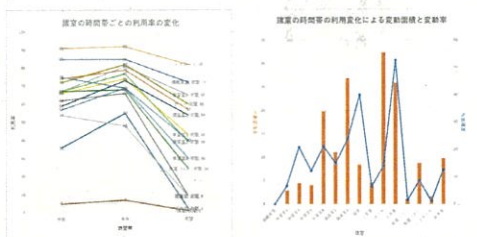
- ・3階の『ガーデンテラス』は、コミュニティラウンジと連続した屋外の憩いの場として開放します。市民によるプランター菜園など活動の様子が外からも見え、景観に潤いを与えます。



## 3 多様なニーズに対応した集会機能

### 効率的な集約化を実現する多角的な利用率分析

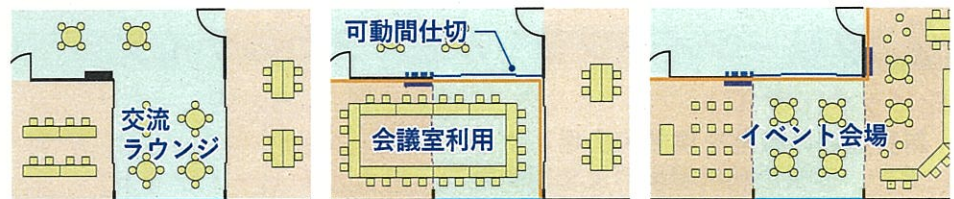
中央公民館および福祉会館の各室利用率を、時間帯による変動率・変動面積の2軸で分析し、同等の広さを確保する機能、複数の部屋を1つに集約する機能、可動間仕切りによって可変的とする機能に分類することで、利用実態に即した実用的な共用化・多目的化をおこないます。



利用率分析グラフ

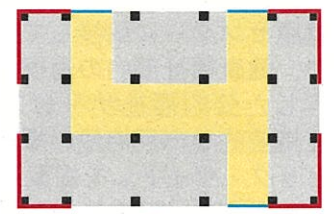
### 可動間仕切による柔軟な運用

時間帯による変動率・変動面積が大きい機能は、可動間仕切りで可変的に区切れるスペースとすることで、フレキシブルに利用できる空間とします。



### 外殻構造による柔軟な可変プラン

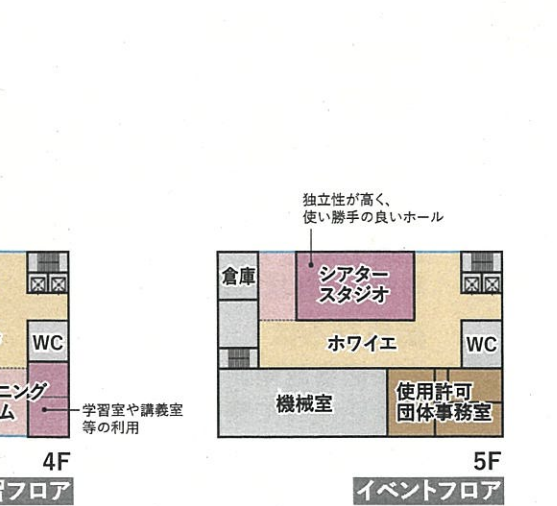
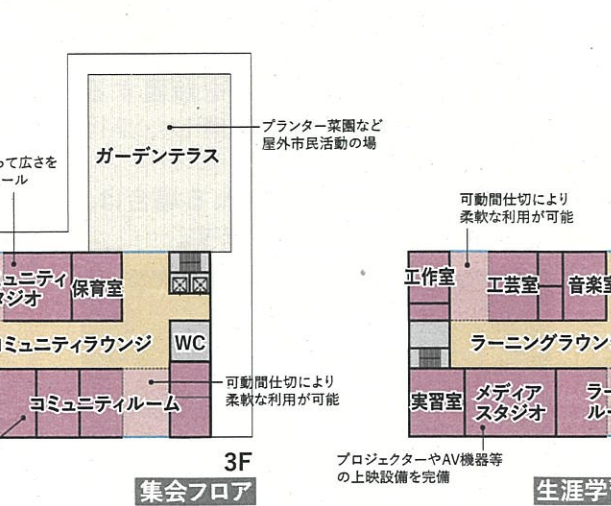
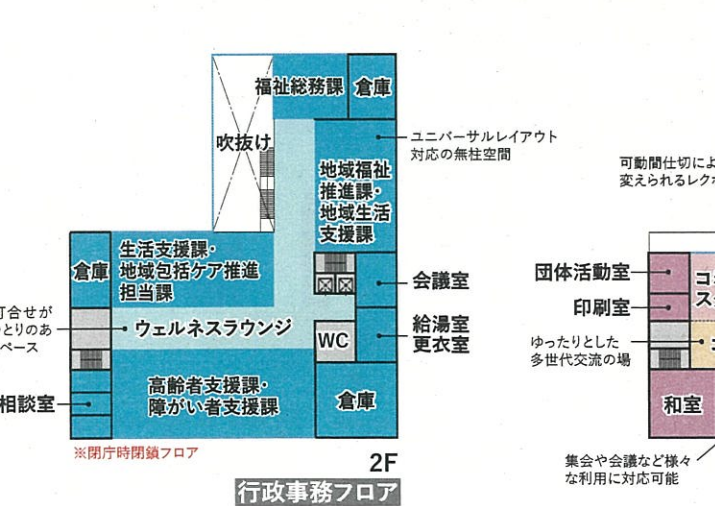
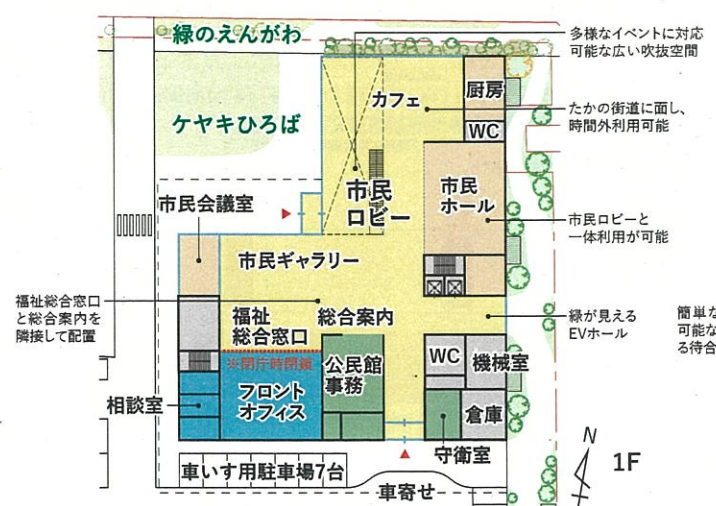
3～5階は室内側に耐震要素を設けない外殻構造とすることで、市民ワークショップ等による計画段階での部屋割り変更にも容易に対応できる計画とします。また、将来的にニーズが変化した際の間仕切りの移動や追加にも対応可能な、機能の共用化・多目的化に柔軟に対応できる構造・建築計画です。



■ 耐震壁/ブレース  
■ ラウンジ  
■ 居室

### 新しい仲間づくりのきっかけとなるコミュニティラウンジ

- ・様々な利用者が訪れる3～5階は、廊下幅員を広げて開放的なコミュニティラウンジにすることで、多世代交流を促進する憩いの場を提案します。
- ・床仕上げや家具には木材等の自然素材をつかい、あたたかみのあるインテリアとします。



想定面積	
市民ロビー、カフェ	1100㎡
市民ホールなど	250㎡
福祉ラウンジ	380㎡
福祉事務室、相談室など	1300㎡
福祉倉庫	270㎡
給湯室・更衣室など	100㎡
公民館事務室	100㎡
公民館倉庫(事務)	30㎡
公民館倉庫(備品)	100㎡
3~5F個室	2200㎡
3~5Fラウンジ	1000㎡
使用許可団体事務室	170㎡
機械室・WCなど	700㎡
<b>合計面積</b>	<b>7700㎡</b>

※内容はプロポーザル提案時のものであり、今後の協議により変更する場合があります。